

可児高通信

平成30年度
2・3月号

大学入試センター試験

頑張れ37期生!



1月19日(土)・20日(日)に多治見高校で大学入試センター試験が実施され、3年生271名が受験しました。試験当日は、3年生の先生方が可児高生一人一人に声をかけ、最後の気合いを注入しました。37期生の生徒たちは、元気をもらって試験会場に向かっていきました。

翌日から自己採点、担任との懇談、受験校の最終決定、出願と慌ただしい日々が続きました。

センター試験前の1月16日(水)には、生徒会による激励会があり、後輩たちからエールが送られました。また、センター試験前日の1月18日(金)には、3年生の先生方による激励会が開催され、センター試験当日の注意点や各教科ごとのアドバイスを先生方がユーモアあふれる寸劇で演じました。生徒の緊張をほぐしながら、実力を出し切ってほしいという先生たちの熱い思いが込められた会でした。



第39回強歩大会

花フェスタ記念公園



暖かな日差しを感じる絶好のマラソン日和となった2月2日(土)、可児高伝統の強歩大会が、花フェスタ記念公園で行われました。1周4kmのコースを、男子は3周12km、女子は2周8kmを走りました。体育の持久走の集大成とあって、生徒たちはベストの走り



をめざして一生懸命走りまわりました。コースの途中では、PTA役員、保護者の方々による給水が、ゴールでは、同じくパンとジュースの配布が行われました。

保護者の皆様のご協力とご声援により、生徒達は勇気づけられ、それぞれのペースで走り抜くことができました。本当に有り難うございました。

男子は、2年の西垣剛大君、女子は1年の天羽海咲さんが優勝し、男女とも上位10人が表彰され、「はつらつ賞」が贈られました。

高校生議会

可児市議会で発表



2月5日(火)に、本校が取り組む地域課題解決型キャリア教育の一環として、可児市議会で開かれた「高校生議会」に、本校の1・2年生から57人が参加しました。

第1部は、委員会議室で今年度開催予定の山城サミットや来年度放送予定の大河ドラマ「麒麟がくる」を契機に、これからの可児市のPRや集客について意見交換や議論を行いました。



第2部は、会場を議場に移して、生徒が議員席に座り、各グループでまとめた意見・提案を、可児市長と可児市議会議員の皆さんに向けて堂々と発表し、議員の方からの質問に対して答弁も行いました。「裏切り者のイメージの転換を図る」

ンスタ映えスポットの設置」など様々な意見が出され、可児市長からも可児市活性化に向けた可児高生への協力依頼や期待の言葉をいただきました。

さらば、学び舎!

卒業証書授与式



3月1日(金)、第37回卒業証書授与式が行われ、37期生272名が、学び舎を巣立っていきました。当日は、可児市長、中学校長、PTA役員の方々もお祝いに来てくださり、祝電も多数いただきました。式は厳粛な雰囲気の中に進行し、在校生からの「送辞」、卒業生の思いのこもった「答辞」、最後に高らかに歌い上げられた「校歌」と、実に感動的で素晴らしい卒業式でした。

前日には卒業生表彰式が行われました。成績優秀者を讃える「自ら学ぶ」では、金賞が2名に、銀賞が9名に贈られました。皆勤者を讃える「自ら治む」では、3カ年皆勤者75名(内8名は12カ年皆勤)に金賞が、3カ年精勤者19名に銀賞が贈られました。また、同じく銀賞が生徒会功労者2名に贈られました。部活動等での成績優秀者を讃える「自ら鍛う」では、全国大会に出場した3名に金賞が贈られ、強歩大会2年連続3位以内の2名と県最優秀賞受賞の書道部9名に銀賞が贈られました。また、3年生の今年度皆勤者126名には、「はつらつ賞」が贈られました。

可児高校での三年間は、とても充実したものだったことと思います。ここで培った忍耐力や粘り強さ、他人や地域を大切にできる心は、これからの人生で必ず生かされると信じています。人々への感謝を忘れず、社会に貢献してくれることを期待しています。

卒業おめでとう!



可児高通信

平成30年
12・1月号

可茂特別支援学校「にこりん祭」に参加

11月23日(祝)に、生徒会執行部21名が、可茂特別支援学校文化祭『にこりん祭』に参加しました。今年で七年連続の参加となりましたが、今回は割り箸ゴム鉄砲やバルーンアート、糸電話や福笑いなど、作って遊べるブースを二教室に設けて、来場者も最後までほとんど途切れることがありませんでした。可茂特別支援学校の児童・生徒や地域の子どもたちと遊びながら交流することができました。生徒たちは今年も有意義でとても良い経験ができました。



全校一斉読書の日

12月7日(金)・14日(金)にクラス毎に様々な形で読書を体験する「全校一斉読書の日」が行われ、クラスで工夫を凝らした活動を通して読書に親しみました。各クラスの主な活動には次のようなものがありました。



- ・各自(各グループ)でお薦めの本のPOPを作って紹介し、MVPを決めるPOP作り。
- ・クラス全員が同じ本を読んでグループ毎にクイズを作って競うクイズ大会。
- ・本の紹介をし合って、一番読みたくなかった本(チャンプ本)を投票で決めるビブリオバトル。
- ・一人で本を読むのはひと味違う、クラス全体で本の楽しさに触れる「読書に親しむ一日」となりました。



はつらつ講座

進路選択のために

本校では、様々な分野の専門家等による講義や授業を通して生徒の視野を広げたり、進路決定の一助にしたりすることを目的に「はつらつ講座」が行われています。

11月20日(火)には「高校生のための就職説明会」が開かれ、県教育委員会からの説明に加え、本校の卒業生でもある中島俊太郎先生(28期生)、新井知恵子先生(29期生)に就職の魅力や中学校・特別支援学校についての様々な話をいただきました。

12月17日(月)には「報道の仕事に携わって」という演題で、NHK名古屋放送局キャスターの有田早紀さん(本校23期生)から、テレビの現場の興味深い話を聞くことができました。



また、12月の保護者懇談会中には「はつらつ大学説明会」として、岐阜大学と名城大学の担当者から大学と入試について説明していただきました。どの講座も、参加者が講師の話に真剣に耳を傾け、熱心に質問をして、進路選択の参考にしていました。



おはようございます！クリスマス挨拶運動

12月25日(火)朝、清新坂とはつらつ坂の校門で、生徒会役員がサンタクロースなどクリスマスにちなんだ衣装をして、挨拶運動を行いました。10月のハロウィンに続き2回目ですが、登校してきた生徒たちも明るく挨拶を返し、笑顔にあふれた朝になりました。生徒会役員の皆さん、お疲れさまでした。



感謝の気持ちを込めて

年末清掃活動

12月17日(月)に、学校周辺の道路やお世話になっている施設などの清掃を行いました。MSリーグが中心となって呼びかけて、毎年行っているこの活動には、部活動や個人のボランティアが多く参加しますが、通学路だけでなく心まできれいになって参加者は清々しい気分です。活動を終えましたが、今後も引き続き環境美化に取り組んでいきます。



スポーツの秋・文化の秋 部活動も頑張りました

この秋に行われた新人戦や総合文化祭、各種コンテストの主な結果をお知らせします。

◇アーチェリー 全国高校選抜大会岐阜県予選個人戦 優勝 藤井奏楽 優勝 全国大会へ出場！

高橋由樹 第3位

◇岐阜県高等学校アーチェリー新人大会

団体戦 第3位

高橋由樹 個人戦 3位

◇岐阜県高等学校新人大会ウエイトリフティング競技

佐藤千速 体重別 優勝 東海大会へ出場！

川合達也 体重別 第2位

野中竜馬 体重別 第3位

◇岐阜県高等学校新人大会

ハンドボール競技 中濃地区予選会

優勝

◇中濃地区高等学校新人大会柔道競技

遠藤稔上 体重別 優勝

◇岐阜県高等学校総合文化祭書道展

書道部(15名) 共同作品部門 最優秀賞

◇岐阜県高校生英語プレゼンテーション大会

高柳 椋 ベストプレゼンター賞



東海大会への壮行会

可児高通信

平成30年
11月号

後期生徒会スタート

10月10日（水）、生徒総会が開催され、後期生徒会役員が信任されました。生徒会長・副会長・書記長・会計長・書記・会計・各委員長・総勢31名の役員を中心に、後期の生徒会がスタートしました。

10月17日（水）には、校長先生と語る会が開催されました。後期生徒会の活動方針、生徒会として取り組んでいきたいことについて校長先生と意見交換したり、生徒会として取りまとめた生徒からの要望について校長先生に伝えたりしました。

後期生徒会は『+1（プラスワン）』→『一歩先へ進む』のローガンの下、アクティブに活動することを目指します。可児高校では、積極的に活動する生徒会が、自分たちのアイディアでより良い学校生活を築くために活動しています。

10月31日に朝の挨拶運動が行われました。ハロウィンの仮装をした生徒会役員が、元気な挨拶で登校する生徒を迎えました。生徒会役員の皆さんから元気をもらって、さわやかな朝のスタートとなりました。



『手離すなブレーキ責任 自分の未来』 交通安全意識の高揚

日没が早まる10月・11月は交通事故が増える季節です。可児高校では、安全な自転車通学のために自転車点検を実施していますが、今年度二回目の点検を9月21日と25日にクラス毎に行いました。

10月19日（金）には可児自動車学校から講師をお迎えして、交通講話を開催しました。映像とともに交通安全に関する講話を聴かせていただき、交通安全への意識を高めました。事故の起こりやすい状況や加害者にもなり得る自転車の責任を再認識しました。

生徒たちは、この講話を通して学んだことを踏まえて、交通安全標語を作り、全校生徒の作品の中から最優秀作品が決まりました。



『手離すなブレーキ責任 自分の未来』
この標語は、来年度の本校の交通安全標語として、正門付近の横断幕に掲示され、一年間可児高生の交通安全を見守ることとなります。

大きく育った長芋の収穫 勤労体験学習

26日（金）に二年生が長芋の収穫をしました。昨年三月、グラウンドの東の狭い土地に種芋を植え、勤労体験委員が毎日手入れをして大切に育てました。

この日は、植えつけをした時の一年次のクラスで長芋掘りの体験です。旧クラスで久しぶりに集まり、会話



も弾み、無心になって。パイプの中の長芋を探します。植え付けた時の小さな種芋が大きく成長していることに驚きながら、自分たちの成長も実感できたのではないのでしょうか。楽しく作業を行い、貴重な体験をすることができました。収穫した芋は生徒が持ち帰りました。自分たちで育てた長芋を味わってくれたことと思います。

ようこそ可児高校へ 中学生一日入学

12日（金）に中学生一日入学が行われ、314名の中学生の皆さんの参加がありました。

体育館での説明の後、本校の一年生の案内で、10名ほどのグループに分かれて校内を見学しました。授業の見学、部活動紹介、部活動見学を通して、可児高生の一見を見ていただきました。

エンリッチプロジェクト活動報告会

10月25日（金）に可児市文化創造センターにおいて、本校が取り組んでいるエンリッチプロジェクトの活動報告会がありました。可児市議会議員やNPO関係者、一般の方々に、本校から5名の生徒が堂々と発表しました。

おめでとう書道部 最優秀賞受賞!

岐阜県高等学校総合文化祭書道展において、可児高校書道部の共同作品が2年連続で最優秀賞を受賞しました。

この共同作品のテーマは『環—空海』。12月10日まで大垣共立銀行可児支店で展示されていますので、是非ご覧ください。



可児高通信

平成30年
10月号

『39 (サンキュー) カニタカ 仲間へ感謝を』

第三九回の可児高校の文化発表会・体育大会が九月六日(木)・七日(金)に行われました。『39 (サンキュー) カニタカ』仲間へ感謝を』のテーマで、台風による延期や変則的な実施にもかかわらず、例年以上の熱気と盛り上がりを見せてくれました。

文化発表会は、書道部のパフォーマンスで幕を開け、文化系部活動や委員会が体験型の企画を工夫し、生徒だけでなく来場者も楽しめる発表となりました。有志によるダンスパフォーマンスや生徒会企画の「可児高クイズ」など、体育館が可児高生の熱気で包まれ、拍手と笑い、感動と歓声が絶えない一日になりました。



体育大会では、各軍の生徒たちが、台風や猛暑の影響で十分な練習ができなかったとは思えない素晴らしいパフォーマンス、「清新はつらつ」とした姿を見せてくれました。騎馬戦、棒引き、綱引き等では、力と力のぶつかり合いが、クラス対抗リレー、軍団対抗リレー等では手に汗握る競争が展開され、応援する声でグラウンド中に響き渡っていました。

体育大会のハイライトは、軍団に分かれて全員が踊る軍団ダンスと応援合戦です。軍団ダンスでは、どの軍団も統制の取れたダンスを短期間で完成させており、その完成度の高さと共に可児高生の集中力・団結力の素晴らしさを感じました。応援合戦では、各団の伝統と個性が随所にあふれ、気迫のある一糸乱れぬその動きに圧倒されました。今年度は、北軍が軍団ダンス、応援合戦、総合優勝共に制する完全優勝を成し遂げました。

日程の変更にもかかわらず二日間で八〇〇名近くの保護者や卒業生、地域の方々が来校され、熱い声援を送ってくださいました。ありがとうございました。



楽しかった！本物に触れた！ 東京研修

七月二四日(火)～二七日(金)の三泊四日で、二年生が東京研修に行きました。初日は、テレビやIT企業、中央省庁や各種研究所など目的毎に班を作り、見学しました。普段見ることのできない企業の内部や、最先端の研究に触れることもでき、大変充実した研修となりました。夜はクラスごとに個性溢れる演技を披露するスタンツ大会でした。どのクラスも工夫を凝らしたパフォーマンスで、とても盛り上がりました。

二日目は、東京大学を見学した後、都内特別研修に出かけ、夜は歌舞伎座で市川海老蔵演じる源氏物語の鑑賞と文化的なひとときを過ごしました。

三日目はホテルでデイズニー講話を聴き、最高のものてなしをするための「スタッフの努力」について学ぶことができました。

四日目は、「オリンピッククルーズ」でオリンピック選手の話をお聞きながら東京湾を船で巡った後、月島もんじゃ焼きで舌鼓を打ちました。進路研究、クラス活動、デイズニーリゾートや歌舞伎まで、バラエティに富み、充実した楽しい東京研修でした。



可児高通信

平成30年
7月号

祝！全国大会出場 東海高校総体報告



六月に愛知・三重両県で行われた東海総体には、本校からウェイトリフティング、アーチェリー、陸上競技、自転車競技の各競技から五名の選手が出場し、それぞれベストを尽くして健闘しました。

ウェイトリフティング部の加藤いぶきさんは二位となり、二年連続で全国高等学校女子ウェイトリフティング競技選手権大会への出場を決めました。また自転車競技の山内溪太君はロードで一〇位入賞を果たしインターハイ出場を勝ち取りました。さらにアーチェリー部の伊藤杏樹さん、高橋由樹君もインターハイ出場が決まっています。

全国の舞台で可児高生が活躍する姿を祈っています。



保護者も大学見学 名古屋工業大・名城大



六月二十五日(月)にPTA主催の大学見学会が実施されました。午前中は、名古屋工業大学で大学からの説明を聞いた後、構内を見学。午後は名城大学へ移動し、学食で昼食をとった後、

大学からの説明、施設見学を行いました。予想以上に素晴らしい設備と環境、やる気に満ちあふれた学生の姿を目の当たりにし、親子で大学進学について語り合う良いきっかけ作りになったようです。



安全な登下校を！ 一年生交通安全教室

可児高校では通学に自転車を利用する生徒がほとんどです。学校周辺の交通量は多く、事故の危険性が非常に高い状況にあります。学校では交通規則やマナーを守って安全に、そして地域の方々に迷惑をかけることなく登下校するように指導していきます。

交通安全指導の一環として、毎年



恒例の一年生を対象の交通安全教室を、六月十二日(火)に可児自動車学校で開講しました。可児警察署交通課長さんの講話の後、実際に教習車に乗って、ドライバーの目線で、自動車の陰からの飛び出しや右折事故などの貴重な体験をしました。そして、事故の怖さや交通規則を守ることの大切さを学ぶことができました。



アジアジュニア陸上 応援フラッグ！



六月に岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催された『アジアジュニア陸上競技選手権大会』の『一校一国応援事業』のために本校美術部と書道部が中心となって製作した横断幕(台湾とラオス)が競技場に掲げられました。



大会期間中、選手たちへの心強い応援メッセージになったことと思います。

卒業生と語る会 教育実習

六月十四日(木)から教育実習がありました。全員が可児高校の卒業生ですが、生徒ではなく教員の立場として母校の教壇に立ち、緊張しながらも一生懸命生徒に語りかけている姿が印象的でした。

六月二十五日(月)には、はつらつ講座「卒業生と語る会」を開催しました。可児高校で学び、可児高校で



進路目標を達成させた先輩として、後輩たちに勉強方法・進路選択・大学生活についてアドバイスをし、先輩たちからの質問に答えてくれました。熱い教員として、一人でも多く、岐阜県の学校の教壇に立ってくださることを期待しています。

PTA役員さんによる挨拶運動

可児高校では、職員が登下校時に学校周辺の危険箇所を定期的に交通指導を行い、生徒の安全意識の向上を図っています。六月十三日(水)と十五日(金)の三日間、PTA役員の方々と職員とで、挨拶運動を行いました。生徒に挨拶や言葉かけをしながら、交通安全に対する意識を促しました。役員の皆さん、朝早くから有り難うございました。



校内スナップ



体育大会・文化発表会スローガン発表



書道選択者の作品展示



1年生進学講演会の中の一場面

可児高通信

平成30年
6月号

スポーツを楽しむ 球技大会

五月十六日（水）、球技大会が行われました。



クラス対抗でソフトボール・サッカー・卓球・バレーボール・バスケットボールの五種目が行われ、どの試合会場でも好ゲームが展開されました。生徒たちは、真剣な眼差しではつらつとプレーをし、クラスメイトに熱い声援を送り、試合後は健闘を讃え合っ

て対戦相手と握手を交わす、実に爽やかな光景があちこちで見られました。また、ソフトボール・サッカー・卓球の優勝チームと教員チームとのドリームマッチも行われ、普段とは違う先生の姿に声援が送られました。



総合成績では三年四組が一位、三年七組が二位、三年三組・二年七組が同率三位と、三年生の強さが目立った大会となりました。勝ち負けにはかかわらず、生徒の笑顔と元気が溢れた楽しい一日となりました。

	サッカー	ソフトボール	バスケットボール		バレーボール		卓球	
			男子	女子	男子	女子	男子	女子
1位	2-7	2-7	2-6	3-7	3-7	3-3	3-4	3-5
2位	2-4	3-4	3-6	3-4	1-3	3-4	3-7	2-1
3位	1-2	3-3	2-2	3-2	2-1	2-3	3-3	1-5



生徒会による挨拶運動

五月二日（水）、生徒会主催の『端午の節句あいさつ運動』が行われました。鯉のぼりを手に朝の挨拶。元気で明るいあいさつをテーマに活動する前期生徒会によるさわやかな朝の演出でした。



美しい環境のために 駐輪場クリーン作戦

五月二十一日（月）～二十四日（水）に、駐輪場クリーン作戦を行いました。登校時から気持ちのよい一日が始められるよう、普段使用している駐輪場の清掃をしました。どの生徒も熱心に活動し、周囲が美しくなり、心も洗われ清々しい気持ちになりました。



アジアジュニア陸上 応援フラッグ製作!

六月に岐阜メモリアルセンター長良川競技場で日本で初めて開催される『アジアジュニア陸上競技選手権大会』の『一校一国応援事業』に、本校が参加しました。

参加国を応援する取組として、美術部と書道部が中心になって台湾とラオスを応援する横断幕を製作しました。この国の選手たちがこの横断幕を見て頑張ってくれることを願っています。



部活も頑張る可児高生 高校総体

四月末から五月にかけて、体育系部活動の三年生にとっては集大成となるインターハイの地区予選が行われました。

テニス・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・剣道・卓球・弓道・陸上競技・ホッケー・アーチェリー・ウエイトリフティングが県大会に駒を進め、ウエイトリフティング部が二位と六位、アーチェリー部が六位、陸上競技部が五位と健闘し、東海大会出場を決めました。また、アーチェリー部はインターハイ出場も決めました。

さらに、個人資格での出場ですが、自転車競技でトラックとロードの二種目で県大会を突破し、東海大会出場を決めました。また、柔道でも県大会出場を果たしています。

五月三十日（水）には東海大会出場選手五名の壮行会が行われ、全校生徒でその健闘を祈り、同窓会から激励金が贈られました。東海大会や全国大会でも日頃の練習の成果を遺憾なく発揮してほしいと思います。



先輩から後輩へ カニタカ・シンポ

五月三十一日（木）に、勉強方法や部活動から行事の楽しみ方まで、高校生活について先輩が一年生にアドバイスする『カニタカ・シンポジウム』が開かれました。

一年生は、頼もしい先輩たちの生の声に真剣に耳を傾けていました。

